

1 題材名 今、私は〇〇です。

2 題材の目標

「今、私は〇〇です。」というテーマを基に、自己を深く見つめて主題を生成し、画材の特性を生かし創造的に表現するとともに、参考作品や他の生徒の作品から作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などを感じ取り味わう。

3 題材について

(1) 題材観

本題材では、鉛筆を用い自画像を描くことを通して自己の心情を表現する活動を行う。高等学校学習指導要領芸術の美術I内容A表現（1）では、「感じ取ったことや考えたこと、夢や想像などから主題を生成すること」、「表現形式の特性を生かし、形体、色彩、構成などを工夫して創造的な表現の構想を練ること」と示されている。本題材で今現在の自分自身を表現することは、自己を深く見つめ主題を生成し、材料や用具の特性を生かしながら創造的な表現をすることにつながると考える。

(2) 生徒の実態

本校は、工業高校ということもあり、作業をすることやものづくりが好きと答えるのは学年全体の83パーセントに及ぶ。しかしながら、作業は好きでも自由にイメージを膨らませて表現するというのが苦手と答える生徒は65パーセントにまでなり、創造的な制作に苦手意識を抱いている生徒が多いと感じる。本来美術というものは、自分の心情や伝えたい事を自分の方法で表現するということが目的にある。本題材においても自分自身の心情と向き合い、工夫して表現できるようにすることが大切であると考え。

(3) 指導観

そこで本題材では、一番身近である“自己”をテーマにし、自画像を制作することを考えた。生徒に自画像というと、“似ている”、“似ていない”という表面的なところで見てしまう傾向があるので、まずは教科書に載っている多種多様の自画像を鑑賞し、「内面や心情を表現する」ということの意味を考えさせる。また、鉛筆という描画材料の表現の基本（明度、彩度、タッチ等）を理解させてから制作に向かうことで、積極的に主題を追求して表現することができるようにさせたいと考える。

4 題材の評価規準

観 点	美術への 関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
評 価 規 準	<ul style="list-style-type: none"> 自己の内面を見つめて表現することに関心をもち、主体的に主題を生成して構想を練ったり、主題を追求して表現したりしようとしている。 参考作品や、他の生徒の作品の多様な表現に関心をもち、主体的に作者の表現の工夫などを感じ取り理解を深めようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「今、私は〇〇です。」というテーマを基に、感性や想像力を働かせて自己の内面を深く見つめ、感じ取ったことや考えたことから主題を生成し、表現形式の特性を生かして工夫しながら表現の構想を練っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 意図に応じて鉛筆など描画材料の特性を生かし、表現方法を工夫して主題を追求し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 参考作品や他の生徒の作品などのよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、作品などについて理解を深めている。

5 指導と評価の計画（8時間扱い）

次	時	●学習のねらい・学習活動	評価の観点				学習活動に即した評価規準 ()は評価方法
			関	発	技	鑑	
1	①	<p>●教科書の作品を鑑賞しながら作者の心情や人柄にふれ、自画像で表現できるものを考える。</p> <p>・スライドで作品を鑑賞し、ワークシート①を基に作者の心情や表現意図を考える。</p>	○				<p>・自画像を鑑賞することに関心を持ち、作者の心情や意図、表現の工夫などを感じ取り理解を深めようとしている。 (観察, ワークシート①)</p> <p>○</p> <p>・参考作品のよさや美しさ, 作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取っている。 (観察, ワークシート①)</p>
	2	<p>●鉛筆の種類や特徴, タッチなどの表現方法を実感的に理解する。</p> <p>・実際に3B, Fを使いながら, ワークシート②, グレースケールを制作する。手掛けることによって実感的な気づきを得る。</p>	○				<p>・鉛筆の種類や特徴の説明を聞いて理解し, 実際に体験することで違いや表現方法を見出そうとしている。(観察, ワークシート②)</p>
2	3	<p>●自分自身と向き合い, 今の気分, 心情と向き合い, 作品の構想を練る。</p> <p>・心理テスト, 気分の丸つけ(ワークシート③)で自身と向き合った後, 作品名, 表現意図を決め, 作品の完成イメージをまとめる。</p>	○		○		<p>・自己と向き合い, どういった心情を表現したいのかを考え, 主体的に主題を生成し追求しようとしている。(観察, ワークシート③)</p> <p>・「今, 私は○○です。」というテーマを基に感性や想像力を働かせて自己の内面を深く見詰め, 感じ取ったことや考えたことから主題を生成している。(観察, ワークシート③)</p>
3	4	<p>●表現形式の特性を生かしながら表現方法を工夫し, 主題を追求して表現する。</p> <p>・構図が自身の表現しようとしているものに効果的かを吟味する。</p>	○				<p>・表現形式の特性を生かして工夫しながら表現の構想を練っている。 (観察, アイデアスケッチ)</p>
	5	<p>・鏡で自身をよく観察して, 意図に応じて鉛筆の特性を生かし, 表現方法を工夫して主題を追求し表現していく。</p> <p>・途中段階で中間鑑賞をし, 他人の作品のよいところを参考にする。</p>			○		<p>・意図に応じて鉛筆など描画材料の特性を生かし, 表現方法を工夫して主題を追求して表現している。 (観察, 作品)</p>
	6	<p>・作品の隣に中間鑑賞カードを置き, 作品説明(作品名, 表現しようとしている心情とうまいかない点)を記入する。</p> <p>・友人の作品を鑑賞しながらよいところとアドバイスを伝える。</p>				○	<p>・他の生徒の作品などのよさや美しさ, 作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り, 作品などについて理解を深めている。 (観察, 中間鑑賞カード)</p>
	7	<p>●鑑賞後の新鮮な目で自分の作品を見て, 最後の描き込みをして仕上げる。</p>	○				<p>・鑑賞で他の生徒の作品を見て感じたものをふまえ, 自分の作品と向き合い, よりよい作品にしようとしている。(観察, 作品)</p>
4	8	<p>●作品鑑賞会で, 他の生徒の作品を見て様々な表現方法があることや, その人の心情を理解する。</p>				○	<p>・他の生徒の作品などのよさや美しさ, 作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り, 作品などについて理解を深めている。 (観察, 鑑賞カード)</p>

6 本時の学習

(1) 目標

教科書に載っている自画像に触れ、作品を通してその人の心情、性格を想像し鑑賞することで、自画像で何を表現するのかを考える。

(2) 準備・資料

教師：スライド、ワークシート

生徒：教科書、筆記用具

(3) 展開

学習活動・内容	指導上の留意点 ◎評価（評価方法）
<p>1 本時の学習課題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>教科書に載っている自画像を鑑賞し、自画像で表現したいことを考える。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・自画像についての簡単な説明を聞き、表面的に似せるのが目的ではなく、自身の心情を表現するということを理解する。 <p>2 スライドと教科書で作品を一つずつ鑑賞し、感じたことをワークシートに書き込んで発表していく。 〈スライドとワークシートを使って〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品を眺めて第一印象を記入する。 ・他の生徒の意見を聞く。（指された生徒が次の生徒を指して意見を広げていく） ・作者の生涯や作風の説明をする。 ・それを踏まえてさらに感じたことを記入する。 <p>3 本時を振り返り、次時の予定を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価シートに本時の学習の振り返りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習内容を伝え、見通しをもてるようにする。 ・過去に自分で描いた自画像を当時の心境を交えながら見せる。最終目的は“似せる”ことではない。では、何を表現することかと問題提起をし、今回の学習の目的が理解できるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・教科書に載っている作品をスライドで映しながら、全員で一つの作品を鑑賞しているという意識をもたせつつ、細かい表現を見たい場合は教科書を参考にするよう伝える。 ・最初の問いではあえて何の情報も与えずに、どんな印象をもったかを問いかける。 ・メリハリをつけるためにタイマーで時間を区切りながらリズムよく授業を進めていく。 ・教師→生徒にならぬよう、一人指名した後はどんどん指名していくように促す。この時、教師は一か所の位置にとどまらず、声が小さくて聞こえにくいときはフォローを入れていく。 <p>◎自画像を鑑賞することに関心を持ち、作者の心情や意図、表現の工夫などを感じ取り理解を深めようとしている。</p> <p style="text-align: right;">（観察、ワークシート①）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一通り意見が出たところで、大まかな作者の生涯の豆知識や性格を簡単に説明することで、興味を膨らませるようにする。 <p>◎参考作品のよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取っている。</p> <p style="text-align: right;">（観察、ワークシート①）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10分前には本日の振り返りが十分にできるよう、自己評価シートを配付する。 ・次時の予定を伝え、本時で学習したことや気づいた点をこれからの制作に生かしていくように呼びかける。